

診断と検査

問診や各検査を行い、結果をもとに医師が診断します。
また、排尿障害をきたす他の病気や前立腺がんとの鑑別を行います。



● 問診

症状の程度や経過、病歴などを問診します。

排尿症状の程度は、国際前立腺症状スコア(I-PSS)とQOLスコアという質問票(後頁)が用いられます。



● 身体所見

直腸診により、前立腺の大きさ、硬さ、表面の状態を調べます。

● 尿検査

尿路感染症や血尿などがいないかを調べます。

● 血液検査(血清PSA検査)

腎臓の働きや、前立腺がんの有無を調べます。

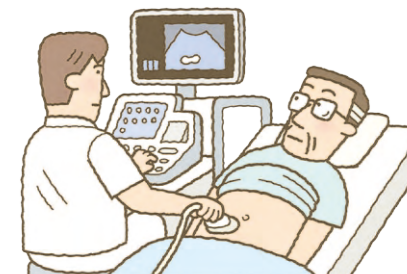
● 尿流検査

センサー付きの便器に排尿することで、尿流量が数値とグラフになり、排尿の勢いや排尿量・排尿時間を確認できます。



● 超音波検査

前立腺や膀胱の状態、残尿量を測定します。



前立腺肥大症と前立腺がんの違いは？

前立腺肥大症は良性の腫瘍であるのに対し、前立腺がんは悪性腫瘍で、生命に大きな影響を及ぼします。発症年齢も同じくらいですが関係性はなく、前立腺肥大症が進行して前立腺がんになることはありません。しかし、併発することもあるため検査で調べる必要があります。



前立腺肥大症以外に排尿障害をきたす病気は？

- 排尿を促す自律神経の障害によって起こる**神経因性膀胱**
- 膀胱内や尿道に細菌が侵入して炎症を起こす**膀胱炎・尿道炎**
- 泌尿器の各部に結石ができる**膀胱結石・尿路結石・尿道結石**
- 女性特有の病気では**子宮筋腫**

などがあります。